

CADPACCREATOR 2D Ver.18.5

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. 図面開く.....	2
2. SXF 入出力 圧縮フォーマット.....	2
3. マウスアクション 3D 互換.....	3
4. 2D/3D InterFace	4
5. DXF/DWG 入出力 文字飾り.....	5
6. DXF/DWG 入力 マルチ引出線.....	5
7. ファイン表示.....	6
8. 文字置換.....	6
9. システム設定 入出力フォルダ.....	6
10. 雲形（新コマンド）.....	6

■機械オプション

1. 深ざぐり、皿ざぐり.....	7
2. ナット、座金.....	7
3. 部品台帳 ねじ系登録.....	8

■その他のオプション

1. JIS 機械パーツ Ver.18.5 用の部品ライブラリ.....	8
--------------------------------------	---

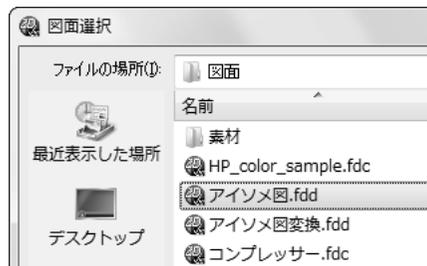
Ver.18.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.18.5 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.18.0 からの差分です)

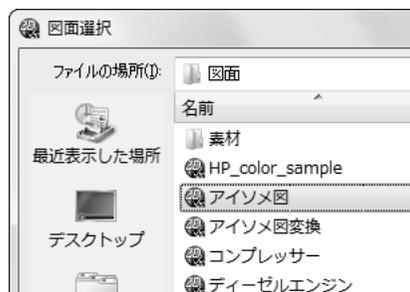
汎用機能

1. 図面開く

Windows のフォルダオプションで「登録されている拡張子は表示しない」設定にした場合、CADPAC の開くコマンドのダイアログボックスで拡張子を表示しないようにしました。拡張子を表示する設定の場合は、従来通り拡張子が表示されます。



Ver.18.0 までは必ず
拡張子が表示された



Ver.18.5 からは拡張子
は表示されない

Ver.18.5 を更新インストールした場合、以前のバージョンですでに CADPAC 図面が関連づけられている場合は、ファイル関連づけツールで再登録する必要があります。

2. SXF 入出力

CALS/EC 電子納品で使用される共通ファイル形式で、圧縮フォーマットの *.sfz と *.p2z に対応しました。

*.sfz は、sxf ファイルの圧縮フォーマット、

*.p2z は、p21 ファイルの圧縮フォーマットです。

圧縮フォーマットにより、ファイルサイズの大きいものは従来比 1/5 程度のファイルとなります。

またラスターの混在する図面では、一緒にラスターデータも圧縮されるため 1 ファイルで受け渡すことが可能です。

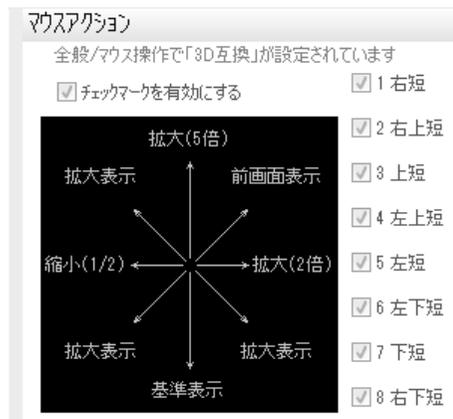
3. 3D 互換

マウスアクション スクロールボタン

【マウスアクション】

マウス右ボタンを押しながら、任意の方向にドラッグすること特定のコマンドを起動できるマウスアクション機能で、CADPAC-3D のマウスアクションと同じ機能を選択できるようになりました。

補助 / システム設定 / 全般 / マウス操作で、[3D 互換] のチェックをオンにすると、3D と同じマウスアクション機能になります。



【マウススクロールボタン】

[3D 互換] のチェックをオンにすると、マウススクロールボタンの機能が 3D と同じ機能になります。

- ・ シングルクリック → クリックした位置を画面の中央に移動
- ・ ダブルクリック → 設定なし

この機能は、キー定義でも変更できません。変更するためには [3D 互換] のチェックをオフにします。

4. 2D/3D InterFace

【属性変換】

本バージョンでは以下の要素の属性変換に追加対応しました。詳細はオンラインマニュアル [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。

3D (転送元)	2D (転送先)
ドリル	ドリル穴
タップ	タップ
皿ざぐり / 溝付き皿ねじ 2 級	皿ざぐり
ザグリ	深ざぐり

最新 JIS 対応部品

3D (転送元)	2D (転送先)
六角ボルト (付表) 並目 / 細目	最新 JIS 六角ボルト
全ねじ六角ボルト (付表) 並目 / 細目	
座付き六角ボルト (付表) 並目 / 細目	
座付き全ねじ 六角ボルト (付表) 並目 / 細目	
六角穴付き止めねじ	最新 JIS 止めねじ
六角ナット	最新 JIS 六角ナット

【投影図転送】

2D 転送コマンドに新機能「投影図転送」が追加されました。このコマンドでは、図面から選択した投影図のみを 2D へ送ることができます。全体図を送ることが困難な大容量の 3D レイアウトを 2D に転送したいときにお使いください。詳細はオンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。



【投影図毎にレイヤーを分け】

3D から 2D へ投影図を転送するとき、投影図毎にレイヤーを分けて出力するようになりました。このとき、各投影図の投影図名もレイヤー名称として転送されます。投影図以外の要素を転送するときは、レベル毎に昇順でレイヤーに出力されます。詳細はオンラインヘルプの [オプション /2D3D InterFace] を参照ください。

5. DXF/DWG 入出力 文字飾り

【DXF/DWG 出力】

CADPAC の文字飾りのうち、[下線]、[上線]、[消し線] を AutoCAD のマルチテキストとして出力します。

【DXF/DWG 入力】

AutoCAD のマルチテキストの [下線]、[上線]、[取消線] を CADPAC の文字飾りとして入力します。

上記文字飾りの CADPAC と AutoCAD の互換性が高まり、相互に編集が可能になりました。



文字情報処理設定

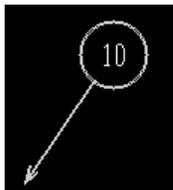
文字幅の小数点以下切る桁数
2 (範囲: 0~3、四捨五入する)

文字情報を保持する(文字線幅含む)

マルチテキストの下線/上線/取消線を文字飾りとして入力する

6. DXF/DWG 入力 マルチ引出線

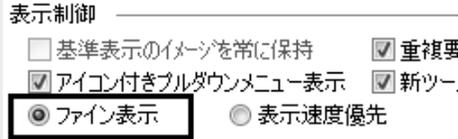
従来マルチ引出線は注釈形状のみの変換対象でしたが、Ver.18.5 よりマルチ引出線のバルーン形状 (ブロック図形がアタッチされたタイプ) にも対応しました。CADPAC のバルーン要素としては入力されません。



7. ファイン表示

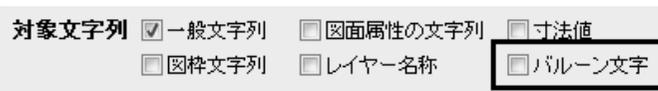
要素数の多い図面（線分系）の表示高速化を行い、従来比 20% アップを実現しました。

ファイン表示は、補助 / システム設定 / 表示 / ファイン表示のチェックをオンにします。



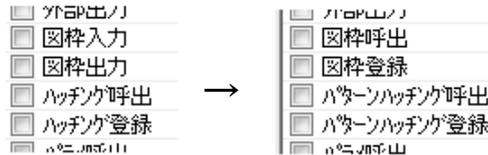
8. 文字置換

対象文字種別にパルーンの文字を追加しました。

9. システム設定
入出力フォルダ

コマンド項目名を以下のように変更し分かりやすくしました。

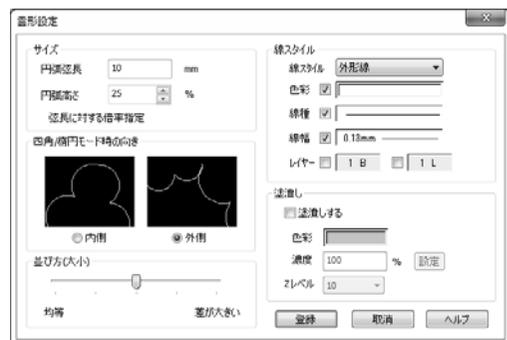
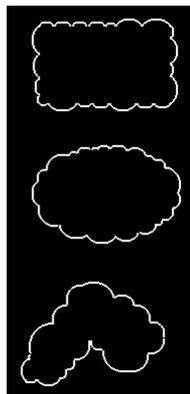
- ・「図枠入力」→「図枠呼出」
- ・「図枠出力」→「図枠登録」
- ・「ハッチング呼出」→「パターンハッチング呼出」
- ・「ハッチング登録」→「パターンハッチング登録」



10. 雲形

雲形を作図する新コマンドを追加しました。

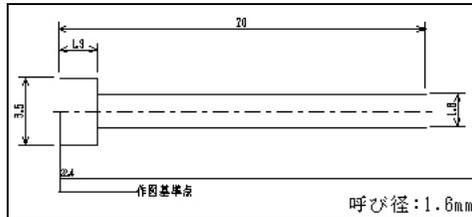
四角、楕円、多角点の 3 種から形状を選択できます。雲形を構成する円弧の高さ（矢高）や長さ、ランダムに生成される円弧の大小差、線の色や塗りつぶしの濃度等様々な設定が可能です。[作図 - 定型 / 雲形]



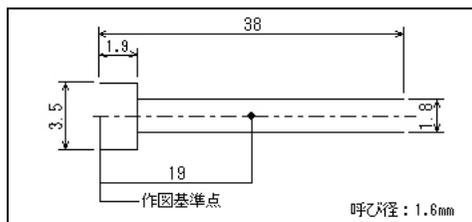
機械オプション

1. 深ざぐり、皿ざぐり

設定プレビュー内テキストの表示を大きくし、視認性を向上しました。



旧設定プレビュー



新設定プレビュー

2. ナット、座金

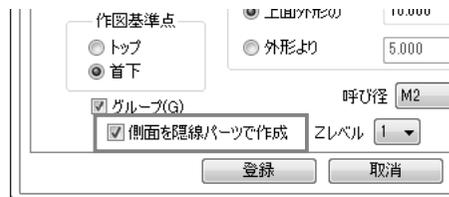
設定ダイアログボックス内「側面を隠線パーツで作成」チェックボタンの初期値を ON に変更しました。

[専用 - 機械定型 1/ 六角ナット][専用 - 機械定型 2/ 平座金]

[専用 - 機械定型 2/ 角座金][専用 - 機械定型 2/ ばね座金]

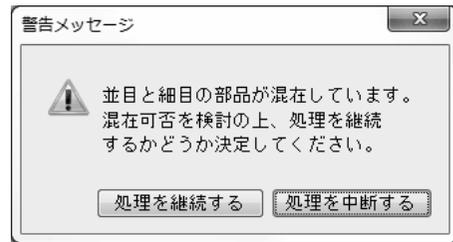
[専用 - 最新 JIS 対応 / 六角ナット][専用 - 最新 JIS 対応 / 平座金]

[専用 - ばね座金 / ばね座金]

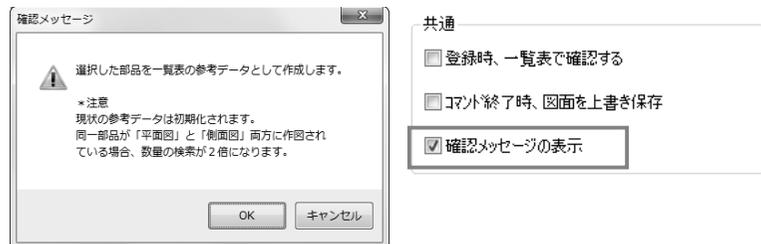


3. 部品台帳 ねじ系登録

登録リストの出力または編集の完了時に手入力（確定データ）内の並目と細目の部品の混在を検知し、処理を中断できるようにしました。



コマンド起動中のマウス右ボタンクリック時、または[0. 自動検索]時に表示される確認メッセージダイアログの表示を省略できるようにしました。設定ダイアログボックスの「共通 - 確認メッセージの表示」チェックボックスで表示の可否を指定できます。



[0. 自動検索]からの対象選択を枠選択のみに統一しました。

その他のオプション

JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.18.5 用の最新部品ライブラリに変更されました。部品点数は 60 万点です。保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。